

# III 上位関連計画

## 1. 市の上位関連計画

### (1) 第1次始良市総合計画

本市の総合的な行政運営の指針となる「第1次始良市総合計画」の概要は、以下のとおりです。

項 目	内 容	
計画期間等	計画期間：平成 24 (2012) 年度から平成 30 (2018) 年度 策 定：平成 24 (2012) 年 3 月	
基本理念・将来像	基本理念	県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり
	将来像	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民・地域と行政が協力しあい、一体感あふれるまち</li> <li>・ 子どもを安心して生み育てることができる、子育て支援のまち</li> <li>・ 豊かな人間性を育むまち</li> <li>・ 生涯すこやかで、ともに支えあい、いきいきと暮らせるまち</li> <li>・ 快適で暮らしやすいまち</li> <li>・ 地域資源を活かした活力ある産業の育つまち</li> <li>・ 環境にやさしく、豊かな自然と共生・調和するまち</li> <li>・ 経営感覚を持った行財政運営のまち</li> </ul>
	人口	始良市のめざす将来人口：平成 30 (2018) 年 80,000 人
主要施策の内容	<p>(公共交通に関する、関連する内容)</p> <p>(1) 交通環境の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜島 SA にスマートインターチェンジ*の設置及びアクセス道路整備の推進</li> <li>・ 国道 10 号の全線 4 車線化の早期完成の推進</li> <li>・ 長期未着手計画道路の見直し</li> <li>・ 都市計画道路整備の推進</li> <li>・ 中部地域横断道路の整備促進（仮称）山田口・木田線の新設</li> <li>・ 始良地区松原から加治木地区須崎への橋りょう整備の調査研究</li> <li>・ 宇都トンネル、柘野線、木田橋整備の推進</li> <li>・ 岩原本通線の道路排水路整備の推進</li> <li>・ 始良駅前通線整備の推進</li> <li>・ 帖佐駅前の整備促進</li> <li>・ 道路パトロールの強化</li> <li>・ 橋りょう長寿命化修繕計画による橋りょう補修の計画的実施</li> </ul> <p>(2) 公共交通網の維持・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅舎及び駅前広場整備の検討</li> <li>・ 駅周辺の交通環境整備の推進</li> <li>・ 駅周辺及び鉄道駅等のバリアフリー*対策の推進</li> <li>・ 案内看板・情報板整備の検討</li> <li>・ 公共交通機関の連携強化</li> <li>・ 地域の公共交通の確保・維持・改善に資する調査の実施</li> <li>・ 地域公共交通会議等による、地域の実情にあった公共交通の検討</li> <li>・ 住民ニーズに合った公共交通システムの拡充</li> </ul> <p>(3) 情報通信基盤の整備と利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域情報化の推進</li> <li>・ 公共施設間の情報ネットワークの構築</li> <li>・ ユビキタス*社会への移行促進</li> </ul>	

## 2. 交通政策関連計画

### (1) 始良市都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針

項 目		内 容
計画期間等		策 定：平成 28（2016）年 11 月 1 日
基本方針等	基本理念	自然豊かで快適なくらしを発信する県央都市 あいら
	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安心、快適に暮らせる都市</li> <li>・活力を育み、発展する都市</li> <li>・歴史文化・自然環境を大切にして活かす都市</li> <li>・災害に強い安全な都市</li> </ul>
交通施設の都市計画の決定の方針	交通体系整備の方針	<p><b>(1) 自動車交通に対応した道路ネットワークの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市活動の広域化にともなう、周辺都市との連携強化の必要性から、広域的な幹線道路の整備等により隣接市町との連絡機能の強化を図るため、通過交通と地区内発生交通との分離を図り、各道路の機能分担を明確にすることで、広域交通と都市内交通を適正に整序し、円滑化する幹線道路網の段階構成の構築を進める。</li> <li>・また、不足する機能に対しても適宜、整備を検討し、区域内における自動車交通の円滑な流れの確保を目指す。</li> <li>・特に市街地においては、道路整備が都市経済活動並びに防災上重要な課題となっており、面的整備計画等の整備など、都市の将来像を構成する区域・各所の位置づけや役割に適応した都市施設の見直しや適正配置を図り、快適で利便性の高い地域交通機能の確保を目指すとともに、広域道路網体系の整備を進める。</li> </ul> <p><b>(2) 歩行者・自転車交通を支えるネットワークと交通環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路整備により確保される歩行者・自転車等の空間や既存の歩道により公園・緑地や文教施設等の拠点を結ぶ歩行系ネットワークを形成する。</li> <li>・特に、河川、海岸線に沿った「水を活かしたネットワーク」、山の辺の軸を構成する「緑を活かしたネットワーク」、中心商業地の歩行空間の拡充を始めとする「中心市街地のネットワーク」の整備を重点的に進める。</li> <li>・また、施設整備にあたっては、高齢者等の交通弱者の施設利用、地域の美しさや自然環境への影響、ユニバーサルデザイン*に配慮した安全かつ快適な歩行者空間の形成に努める。</li> </ul> <p><b>(3) 公共交通の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢社会においても、誰もが快適に街に出て活動ができるよう、鉄道・バス交通の利便性の向上を図る。</li> <li>・整備済の駅前広場の機能強化を図るとともに、JR 帖佐駅、JR 重富駅、JR 加治木駅北口の駅前広場の整備と鉄道南北の歩行者連絡機能の強化、駅周辺や商業拠点における駐車場、自転車駐車場の整備を進める。</li> </ul>

(2) 始良市都市計画マスタープラン

項 目		内 容
計画期間等		基準年次：平成 24（2012）年 目標年次：平成 44 年（2032）年 計画期間 20 年
基本理念等	将来都市像	自然豊かで快適なくらしを発信する県央都市 あいら
	都市づくりの目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安全、快適に暮らせる都市</li> <li>・活力を育み、発展する都市</li> <li>・歴史文化・自然環境を大切にし、活かす都市</li> </ul>
	人口	始良市の将来人口：平成 44（2032）年 78,000 人
交通体系整備の方針	交通体系整備の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺都市との連携の強化</li> <li>・地域の生活交通の利便性の向上</li> <li>・安全で豊かな歩行者空間づくり</li> </ul>
	交通体系整備の基本方針	<p>(1) 自動車交通に対応した道路ネットワークの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な道路の段階構成と配置を計画し、未整備区間の整備や必要な交差点改良等を推進・促進するとともに、適切な維持・管理や計画的な修繕・管理を行います。また、必要に応じて都市計画道路網の見直しを進めます。</li> </ul> <p>(2) 歩行者・自転車交通を支えるネットワークと交通環境の整備</p> <p>a. 水を活かしたネットワーク整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川、海等の水辺環境の保全、歩行路・広場等の整備を進めます。</li> </ul> <p>b. 緑や歴史的資源を活かしたネットワーク整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山の辺の環境軸を構成する総合運動公園、サボールランドパーク始良等を結ぶ道路の機能強化等を進めます。また、大口筋龍門司坂等の整備や環境維持に努め、これらの緑や歴史的資源と触れあいながら散策できる歩行ルートの整備を進めます。</li> </ul> <p>c. 中心市街地のネットワーク整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物のセットバック*や交通規制等の手法も活用し、歩行者空間の豊富化に努めます。</li> </ul> <p>(3) 公共交通の整備</p> <p>a. 鉄道及び路線バスの機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤通学等に対応するため、鉄道運行ダイヤの改善等を促進し、駅構内跨線橋へのエレベーター設置等、誰もが使いやすい快適な駅舎や駅周辺環境整備を進めます。</li> <li>・高齢者や子ども等、誰もが安全・快適に鉄道駅や公共施設等に行けるよう、始良地域、加治木地域、蒲生地域を結ぶ循環バスの運行の継続・強化を図ります。なお、ニーズにあった路線とするよう協議会を組織し、定期的に検討します。</li> </ul>

項	目	内 容																								
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス交通の快適化、バリアフリー*化を実現するため、バスシェルター*の整備や低床バスの導入等を促進します。</li> <li>・広域交流促進のため、大隅半島等を結ぶバスターミナル設置を検討します。</li> </ul> <p><b>b. 交通結節点の機能の強化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備済駅前広場の機能強化と JR 帖佐駅等の未整備の駅前広場の整備を図り、JR 加治木駅北口等において駅前広場の設置について検討し、その整備に努めます。なお、機能の強化や整備にあたっては、本市の歴史が感じられる工夫に努めます。</li> <li>・鉄道を横断する歩行者の安全な連絡確保に努めます。</li> <li>・駅前広場周辺や商業・生活拠点等において、駐車場の整備を推進します。</li> </ul> <p><b>c. 港の機能維持等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加治木港については、臨港地区の漁港区、商港区を物流及び産業の拠点として整備を促進するとともに、多様な活用について検討・促進します。</li> <li>・重富漁港については、沿岸漁業の拠点港として整備を促進するとともに、海洋性レジャー港としての可能性等、多様な活用について検討・促進します。</li> </ul>																								
地域別の構想	地区の街づくりの構想	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">地域</th> <th style="width: 20%;">地 区</th> <th style="width: 65%;">地区のまちづくりの目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">始良地域</td> <td>1 始良東部地区</td> <td>県央の地の利を活かした広域交流拠点として、賑わいとふれあいがあるまち</td> </tr> <tr> <td>2 始良南部地区</td> <td>良好な住環境と自然の潤いを活かして、心豊かな暮らしと地域の絆を育むまち</td> </tr> <tr> <td>3 始良中西部地区</td> <td>都市と中山間地域の中継地区として、豊かな食を供給し快適な暮らしを育むまち</td> </tr> <tr> <td>4 始良北部地区</td> <td>森の恵みと人の温もりに包まれた、都市と農村の交流を育むまち</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">加治木地域</td> <td>5 加治木東部地区</td> <td>伝統・歴史・文化と文教施設を活かして、新たな交流文化を創造する心安らぐまち</td> </tr> <tr> <td>6 加治木西部地区</td> <td>残された自然環境や地域施設が調和した、人・地域・企業が協調し伸びゆくまち</td> </tr> <tr> <td>7 加治木北部地区</td> <td>豊かな自然環境と交流施設に恵まれた、いこいのある暮らしと生涯活動を育むまち</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">蒲生地域</td> <td>8 蒲生南部地区</td> <td>歴史文化資源と調和した田園都市として、おもてなしとゆとりある空間を感じられるまち</td> </tr> <tr> <td>9 蒲生北西部地区</td> <td>色彩豊かな里山の地域資源の中で、生き生きとした暮らしを守り営むまち</td> </tr> </tbody> </table>	地域	地 区	地区のまちづくりの目標	始良地域	1 始良東部地区	県央の地の利を活かした広域交流拠点として、賑わいとふれあいがあるまち	2 始良南部地区	良好な住環境と自然の潤いを活かして、心豊かな暮らしと地域の絆を育むまち	3 始良中西部地区	都市と中山間地域の中継地区として、豊かな食を供給し快適な暮らしを育むまち	4 始良北部地区	森の恵みと人の温もりに包まれた、都市と農村の交流を育むまち	加治木地域	5 加治木東部地区	伝統・歴史・文化と文教施設を活かして、新たな交流文化を創造する心安らぐまち	6 加治木西部地区	残された自然環境や地域施設が調和した、人・地域・企業が協調し伸びゆくまち	7 加治木北部地区	豊かな自然環境と交流施設に恵まれた、いこいのある暮らしと生涯活動を育むまち	蒲生地域	8 蒲生南部地区	歴史文化資源と調和した田園都市として、おもてなしとゆとりある空間を感じられるまち	9 蒲生北西部地区	色彩豊かな里山の地域資源の中で、生き生きとした暮らしを守り営むまち
地域	地 区	地区のまちづくりの目標																								
始良地域	1 始良東部地区	県央の地の利を活かした広域交流拠点として、賑わいとふれあいがあるまち																								
	2 始良南部地区	良好な住環境と自然の潤いを活かして、心豊かな暮らしと地域の絆を育むまち																								
	3 始良中西部地区	都市と中山間地域の中継地区として、豊かな食を供給し快適な暮らしを育むまち																								
	4 始良北部地区	森の恵みと人の温もりに包まれた、都市と農村の交流を育むまち																								
加治木地域	5 加治木東部地区	伝統・歴史・文化と文教施設を活かして、新たな交流文化を創造する心安らぐまち																								
	6 加治木西部地区	残された自然環境や地域施設が調和した、人・地域・企業が協調し伸びゆくまち																								
	7 加治木北部地区	豊かな自然環境と交流施設に恵まれた、いこいのある暮らしと生涯活動を育むまち																								
蒲生地域	8 蒲生南部地区	歴史文化資源と調和した田園都市として、おもてなしとゆとりある空間を感じられるまち																								
	9 蒲生北西部地区	色彩豊かな里山の地域資源の中で、生き生きとした暮らしを守り営むまち																								

### 3. その他関連プロジェクト

#### (1) 始良市観光基本計画「観光おもてなし計画」

項 目	内 容
計画期間等	策 定：平成 26（2014）年 3 月 計画期間：平成 26（2014）年～平成 30（2018）年（5 ヶ年）
基本方針等	<b>基本理念</b> おもてなしの心あふれ「本物」が光るまちづくり ～ともに磨き、創ろう光り輝く「あいら観光」の魅力～
	<b>基本方針 基本施策</b> <b>(1) 市の観光資源を観て、体験してもらう</b> 多様な素材に磨きをかけ、資源としての魅力向上に加え、歴史的なつながりやそれに基づくストーリーを活かす。市内に点在する資源をつなげるブランディング*。 <b>(2) 人が活躍できるプロセスづくり</b> 「人」を軸に、活動する人たちの多様な思いを共有する仕組みをつくり、市民ひとり一人が観光振興に参画できる場をつくる。また、地域と連携し、共感できる方向性を生み出す。 <b>(3) 戦略的な情報共有と広域連携</b> 情報を一元化し、さまざまなツールやメディアを活用。ターゲットごとに情報発信する。また、広域連携やテーマ別連携の際の市のポジションを明確にし、プランニングや PR を実行する。 <b>(4) 観光関係事業者などの育成と連携</b> 市内の観光関係者のスキルアップをはかり、経済効果を生む。既存の支援事業は効果を検証し、主体的で持続性のある活動を促す。
重点プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民主体のおもてなしの仕組みづくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 始良市のことを学ぶ場づくり</li> <li>② おもてなしのすそ野の拡大</li> <li>③ 観光関連事業者・団体の強化</li> </ul> </li> <li>● 多様な観光メニューづくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>① ターゲットを踏まえた観光メニューづくり</li> <li>② 始良市の魅力を再発見できる記念イベントの企画</li> <li>③ 豊富な観光資源や地理的特性を活かした観光ルート・コースの設定</li> </ul> </li> <li>● 観光拠点施設づくり               <ul style="list-style-type: none"> <li>① 市内の観光拠点機能の強化</li> <li>② 観光地として必要な環境整備</li> </ul> </li> </ul>